

コース	D コース
プログラム	延世大学校 Yonsei International Summer School
渡航国	韓国
渡航期間	6 週間
所属学部	理学部

1. プログラムの概要

私は6月28日から8月4日までの6週間、延世大学のサマースクールプログラムに参加しました。「Korean(1)」、「Introductory Biochemistry」の2科目を選択し、授業は月曜日から木曜日に毎日各90分、全て英語で行われました。授業以外にも、キャンパスツアーやソウルツアー、ロッテワールドツアー、K pop ダンスレッスン、クッキングクラスなど種類豊富にイベントが開催され、韓国文化を実際に体験することができました。

2. 選択した授業の内容

(1) Korean1 – 韓国語入門

・授業内容、課題、演習

ハングルの読み書きから韓国語初級レベルの内容を、教科書とワークブックに沿って学習しました。授業内では頻繁にペアワークやアクティブラーニングが行われ、毎日のワークブックの課題、定期的な単語テスト、中間試験、期末試験により評価されました。

・授業を通して

学部1年時に横浜市立大学で受講した韓国語授業の内容と途中まで重複している部分があり、以前学んだ内容を再確認でき、新しく学んだ内容もスムーズに理解することができました。特にハングルの読み書きについて留学以前よりも格段に素早く使いこなすことができるようになり、また毎日のペアワークやアクティブラーニングにより簡単な日常会話ができるようになりました。加えて、授業は英語で行われていたことから、自身の英語力についても向上したように感じました。

(2) Introductory Biochemistry – 生化学入門

・授業内容、課題、演習

化学結合、水の性質、アミノ酸、代謝、DNA、遺伝子発現、タンパク質の機能

と構造、酵素反応、脂質と生体膜、膜輸送など、生化学分野における基礎的な内容と、より詳細な内容を学習しました。課題について提出はなく各自で解くように指示がありました。授業はスライドと板書による教師の説明を聞く形式で、時にアクティブラーニングが行われました。また2回の小テスト、中間試験、期末試験、プレゼンテーションにより評価されました。

・授業を通して

授業内容は専門用語が多く使用され、また説明がかなり速く、授業についていくためにとても苦労しました。わからない用語はすぐに調べ、毎日復習することで、授業中に理解が追いつかなくなるという問題を改善していきました。

また動画を鑑賞したり、アミノ酸をビンゴ形式で覚えるアクティブラーニングを行うなど、工夫された授業が多く、楽しみながら学ぶことができました。最後に行われたプレゼンテーションでは、解糖系の10ステップを各生徒が担当し説明を行いました。専門用語を用いた英語での発表は初めてだったため貴重な経験となりました。

3. プログラム全体を通して

このプログラムを通して、初級レベルの韓国語を習得し、また生化学の基礎的な内容からより詳細な内容まで専門的な知識を得ることができました。韓国語については、授業はもちろん実際に現地の人々と交流することで、日常生活を送る上で不自由のない対話力が身につきました。また生化学で学習した内容は、今後の研究活動に活かしていきたいと思います。

プログラムに参加する前に比べ、語学を学び実際に話す楽しさと様々な国籍とバックグラウンドを持つ学生と交流する面白さ、海外の文化を体験することに魅力を感じ、もっと語学力を伸ばしたいと思うようになりました。今後はこのプログラムに参加して、得ることができた知識を今後の学業に生かしながら、語学のさらなる向上に励みたいと思います。

コース	D コース
プログラム	延世大学校 Yonsei International Summer School
渡航国	韓国
渡航期間	6 週間
所属学部	国際商学部

私は、この夏2Q プログラムを通じて韓国の延世大学 サマースクールに6週間参加しました。この2Qプログラムを選んだ理由として、2年生の前期後半を活用して海外の大学で勉強できるという点に惹かれたからです。私は、父の仕事の都合により海外で生活していたこともありこの2Qプログラムを知るまで「海外へ留学は絶対したくない」という思いがありました。ですが、このプログラムは短期間の留学になるため、少し興味を持つようになりました。また、海外の大学で取得した単位を横浜市立大学の単位として認定してもらえる制度があるという点にも惹かれました。そこで、どんな国のどんな大学のコースがあるのかを2年生の春ごろから調べるようになりました。

他にも、アメリカやカナダなど魅力的なプログラムはたくさんあったのですが私は延世大学のサマースクールを選ぶことにしました。高校時代を海外で過ごした私にとって、このプログラムで久しぶりに高校時代の友人に再開したいと考えました。特に、韓国人の友人と仲良くしていたため韓国を選びました。また、私は韓国に一度も行ったことがなく近年の日韓関係に興味があったのでそういった理由も含めて韓国に行こうと決めました。私は、海外に住んでいながら英語が周りの帰国生に比べてそこまで上達しませんでした。そこでこのサマースクールを通じて英語をより上達させたいと思い、友人にも会えて韓国文化を学べてそして英語を話せる環境にある延世大学のサマースクールを渡航先として選びました。

このプログラムに参加すると決めてからは、何回かミーティングが開かれたりグローバル推進室や旅行会社、韓国の大学とのメールのやり取りだったりを通して準備を進めました。ですが、大学の授業と並行して寮の確保やビザの準備を進めることは簡単ではなく期間期限内に資料を集めることに苦戦しました。特に、ビザの取得に関しては「アポステューユ」というものを準備しなくてはいけないため高校時代の成績証明書や戸籍謄本、その戸籍謄本の英訳されたものなどを集めるのにたくさんの時間を要しました。また、コロナ禍ということもあり出国する際にPCR検査をしたり、TBテストを受けたり出国前までとても忙しい日々を送りました。

私は、延世大学の6週間コースだったので2教科または3教科選択することができました。授業は金土日を除いた週4回あり、一コマあたり100分でした。私は1限に韓国文化についての授業を2限にマーケティングの授業を選択しました。クラスのほとんどが、英語が母国語という人ばかりでした。そして全てのクラスが、英語で行われる授業だったので授業についていけるのか、英語を聞き取り自分の意見を発せられるのかとても不安でした。

韓国文化についての授業は、韓国の教育や芸能、経済的な問題などに触れました。授業形態としては、最初に先生が探してきた動画や資料を見てグループで自国の文化と比較したり意見を言い合ったりしてそのあとひとりずつクラスの皆の前で発表する形でした。比較対象として日本の文化についても触れることもありとても興味深い授業でした。この授業では、文化を学びに来ている学生が多いからか日本に興味を持つ学生もいて話す機会が多かったです。また、書く作業よりも話す作業のほうが多かったので私が理解できていない箇所があると友人が教えてくれたり、ゆっくり話してくれたりしました。授業ごとに、グループが入れ替わるのでたくさんの人とお話をする機会がありました。

私は、商学部ということもありマーケティングの授業を選択しました。私は、2年前期前半のプレゼミで経営学をとりました。このマーケティングの授業はプレゼミで行った知識があったおかげでスムーズに理解できたように感じます。授業で学んだことを活かして存在する企業の新しい商品を考えて戦略を立て、広告を出すというプロジェクトを6週間かけてグループで行いました。このプロジェクトで感じたのは「主体性」です。やはり日本だと、グループワークでも発言しない参加しないという人もいますが海外の学生は自分の意見も伝えながら相手の意見も尊重する人が多いように感じます。その中でわからない点があったら、わかる人をお願いしたりしてグループワークでも自分ができる箇所をやるというシステムになっていてみんなで補いながら作業を進めました。6週間という短い時間の中で、チームワークは十分高められたのではないかと思います。

先述したように、休日が3日間あり、うまく履修を組めれば午後は自由時間になるためその時間は観光しに出かけました。最初のほうは雨が激しく、最後のほうは友人や先生がコロナウイルスにかかったこともあり行動が制限される時もありました。また、私は申し込みをするのを忘れてしまっていたのですが、延世大学が用意してくれたツアーが毎週金曜日に行われていました。ですが、その分私は友人にも恵まれいろんな観光地に出向いたり、韓国人しか知らないようなところに連れて行ってもらったりたくさんのお話を体験することができました。日本人の観光客が多いからか、日本語表記をよく目にしたり、日本語が話せる店員さんが多かったり言語に関しては特に不便に感じることはありませんでした。

この6週間のプログラムは、成長に繋がることをたくさん体験しました。失敗もありま

したがその分、学ぶことも多かったです。高校時代私の英語力が伸びなかった原因としては、英語を話せないことが恥ずかしいと感じていたからだと思います。ですが、今回のプログラムでは恥ずかしいと感じる前に「相手に理解してもらわなくては」という考えが先行していました。なので、たとえ文法が間違っている相手は耳を傾けてくれて理解しようとしてくれました。そのおかげで、自分に自信を持てるようになり、言語の他にもいろんなことに挑戦できるようになりました。